2025年度第4回教育研究審議会議事録

日　時	2025年12月10日（水）10:40～11:45
場　所	本部棟　大会議室
出席者	神山議長（学長）、鈴木委員（学部長）、大矢委員（研究科長） 金子委員（図書館長）、生田委員（地域連携センター長） 藤沼委員（学部教授会選出）、三浦委員（学部教授会選出） 青山委員（研究科教授会選出）伊藤委員（事務局長） ［委任状：佐藤委員（理事）］　【10名中10名全員出席】

【会議概要】

定足数	○定款第23条第5項により成立。
【審議】 案件①	**令和７年度補正予算（第２号）について** ○財務情報管理ＴＬから、資料に基づき説明があった。 ○審議の結果、原案どおり承認された。
案件②	**令和８年度当初予算編成方針について** ○財務情報管理ＴＬから、資料に基づき説明があった。 ○三浦委員から、資料中令和６年度決算において、損益計算が2千8百万円の経常損失、8百万円の当期総損失を計上したとあるが、長期的な視点で大学運営を検討しているのか、また現実として運営していけるのかとの質問があった。 ○総務企画ＧＬから、令和６年度単年度で見ると厳しい内容となっているが、将来的な財源については、次の第４期中期計画が令和９年から始まるのに合わせて、設立団体の青森市と運営費交付金のルールについて改善の協議をしているところとの説明があった。 ○神山議長（学長）から、大学の努力として入学者数の確保について、さらに対策が必要になる。単なる出張講義だけではなく、高大接続の発展形を提供していければと考えている。先日の高校関係者との懇談会でも体制を整えていることをお伝えしている。こういった活動を通して大学志願者を増やしたいとの説明があった。 ○藤沼委員から、重点事業の（１）について、下記の２点の質問があった。 ①ＤＸの推進についての具体的なイメージはどのようなものか。

	②学生のフィールド調査で想定されている学生は、ゼミや講義内の学生なのか、自主的な活動をする学生も含むのか。 ○財務情報管理ＴＬから、ＤＸについて、具体的には情報システムの導入であり、現時点で導入している学務情報システムから、学習管理システムを導入することによって学生自身が履修登録や成績照会などできるようにしていくとの説明があった。 ○神山議長（学長）から、学生のフィールド調査について、想定しているのはゼミ活動の学生であるとの説明があった。 ○審議の結果、原案どおり承認された。
案件③	**2026年度大学院学事暦について** ○大矢委員（研究科長）から、資料に基づき説明があった。 ○審議の結果、原案どおり承認された。
案件④	**教員職員の採用に係る業績審査結果について** ○鈴木委員（学部長）から、資料に基づき説明があった。 ○審議の結果、原案どおり承認された。
案件⑤	**教員職員の昇任に係る業績審査結果について** ○鈴木委員（学部長）から、資料に基づき説明があった。 ○審議の結果、原案どおり承認された。
案件⑥	**青森公立大学大学院履修規程の一部改正について** ○大矢委員（研究科長）から、資料に基づき説明があった。 ○審議の結果、原案どおり承認された。
【報告】 案件①	**特別教授について** ○神山議長（学長）から、資料に基づき報告があった。
案件②	**令和７年度補正予算（第１号）について** ○財務情報管理ＴＬから、資料に基づき報告があった。
案件③	**研究費決定時期等の見直しについて** ○地域連携ＴＬから、資料に基づき報告があった。

案件④	**令和６年度業務実績評価及び第３期中期目標期間（終了時見込）業務実績評価における改善事項等の対応状況について** ○総務企画ＧＬから、資料に基づき報告があった。
案件⑤	**広報について** ○総務企画ＧＬから、資料に基づき報告があった。
案件⑥	**第４期中期目標・中期計画について** ○総務企画ＧＬから、資料に基づき報告があった。 ○三浦委員から、令和１４年度から高校生の数が激減すると思うが、長期的な計画の中で中期計画を作っていくべきとの意見があった。
案件⑦	**2025年度卒業予定者の就職内定状況について** ○鈴木委員（学部長）から、資料に基づき報告があった。
案件⑧	**2025年度修了予定者の就職内定状況について** ○大矢委員（研究科長）から、資料に基づき報告があった。
【その他】	**その他** ○藤沼委員からサバティカルについて、必ず出勤簿に記入し、来ない場合には学外研究届が必須となっているようだが、いつから変更になったのかとの質問があった。 ○総務企画ＴＬから、基本的には授業のあるなしにかかわらず、学校に来るのが前提であり、裁量労働の中で学外研究も学長の承認をもって認められれば可能であるということになっている。労務管理上必要であり、サバティカルを取得する先生には個別に説明している。 ○大矢委員（研究科長）から、労基署の指導もあり時間管理を問われるので過去はできたかもしれないが、今は厳しくなっているとの説明があった。 ○藤沼委員から、個別説明ではなく教授会での周知について依頼があった。 ○鈴木学部長から、昨日の青森県東方沖地震に関して、現在、安否確認を学生にしている旨の報告と、一部、家族や実家に被害が出て戻りたいとの学生がいるため、広い形で公欠を認めることについて報告があった。